9/1 週刊物流

（第2617号）　（第3種郵便物認可）

海コン協会

広報車でコンプラ徹底

渋滞解消へ活動を強化

阪神港海上コンテナ協会（山口与嗣雄会長）は9月から、コンプライアンスの徹底を呼びかける広報車を大阪、神戸両港に投入するとともに、ターミナル各社を訪問し改善を申し入れるなど、渋滞解消に向けた活動を強化する。議員団立ち上げを目指した国会や府県市議会議員との意見交換の場づくりも急ぐ。国土交通省が標準運送約款を改正した機会をチャンスと捉え、これまでなかなか進展しなかった待機時間解消を強力に進めたい考えだ。

8月24日、大阪市住之江区の大阪港トランスポートシステム会議室で開かれた理事会で山口会長（近畿木材運輸）は「国交省が7月から30分以上の待機時間の記録を義務づけた。我々事業者に追い風が吹いている。何もしないより何かをやるべきだ」と海コン協会としての行動の必要性を呼びかけ、広報車の導入に賛同を求めた。

阪神港海コン協会の理事会

同協会では現在、乗用車2台で大阪、神戸両港の巡回パトロールを毎日実施しており、費用との絡みで巡回パトは今後、回数の削減など見直しもありそうだ。

広報車は「日産キャラバン」の左右と後部にコンプライアンス徹底を呼びかけるパネルを貼り付けたもので、待機時間や違法駐車の「データ収集中」を強調している。費用は海コン協会と天ト協、兵ト協両海上コンテナ部会が負担する。

ターミナル運営会社（港運会社）への渋滞解消の申し入れは山口部会長らが訪問して行う。申入書では荷待ち時間記録義務づけや長時間労働改善に向けた国交省など行政の動きを説明したうえで、搬出入短時間化への努力を要請している。

議員団立ち上げへ向けた活動では、大阪選出の国会議員と面会、話が進みつつあるほか、会員から国会議員や市会議員の紹介があった。案内があった国会議員や大阪地元の政治団体の政治資金パーティーに参加することも決まった。

一方、会員向けに重量違反や違法駐車防止を呼びかけたポスターを400枚作製・配布する。事業者のコンプライアンスも徹底しようと要請文（チラシ）も配布する。

近トラ案内

●貸し車庫あります

大阪市港区福崎3丁目1―11に4ト車用4区画、10ト車用7区画の車庫あります。お問い合わせは、06（6583）1430番＝大阪車庫事業協同組合・山田まで。

●2トン車（13尺）求む

アルミ標準ボディ13尺くらい。内寸2m10cm～2m15cmくらいが良。走行10万kmくらいまで。期間5年以内が良。150万円くらいで譲って下さい。ご連絡は、06（6681）3478＝中尾運輸㈱、担当・東、森内まで。